

川崎重工業株式会社

NO.2026027

2026年5月22日

**NVIDIA、Analog Devices、Microsoft、富士通と
フィジカル AI の社会実装に向けて協業し、開発を加速
～米国・シリコンバレーにフィジカル AI 開発拠点を開設～**



川崎重工は、AI・半導体分野における日米連携を加速するために、米国・シリコンバレーに、フィジカル AI の社会実装を推進する拠点「Kawasaki Physical AI Center San Jose」（以下、本センター）を開設し、AI 開発を行う世界のトッププレイヤーである NVIDIA、Analog Devices、Microsoft、富士通などとの協業を推進していきます。

5月21日に開所セレモニーを開催し、AI 開発企業などの代表者、本センターの開設に協力いただいた日本政府機関の関係者を前に、代表取締役社長執行役員 橋本康彦は、以下の決意を述べました。

『本センターでは、高齢化と労働力不足という世界共通の課題を抱える医療・介護分野にまず注力します。フィジカル AI とロボティクスとの融合で、来院から診察、治療、手術、術後ケアまでを一貫して支援する「病院ワンストップソリューション」を確立します。さらに、半導体・自動車など幅広い産業分野やニューモビリティの分野への適用も同時に進めていくことで、様々な分野で共通のフィジカル AI とロボティクスの融合ソリューションを展開させていきます。

重要なのは現場に根付き、継続的に活用され、医療の質向上に貢献すること、これが私たちの目指す「社会実装」です。

私たちが目指すのは、人の置き換えではなく、人の判断と行動を安全・効率的に支援するフィジカル AI です。

本センターには、AI、半導体、ソフトウェア、アカデミア、そして現場の課題を理解するパートナーが集まります。ここをグローバルなパートナーシップの起点にしたいと考えています。』（要旨）

開所セレモニーの挨拶文（全文） : https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_260522-1.pdf

また、セレモニー参加者を含む数多くの関係者からも、本センターが、フィジカル AI の社会実装を加速させ、これからの時代を変えるものとして、高い関心・期待を示すメッセージが寄せられました。

NVIDIA CEO/Jensen Huang 氏 から寄せられたビデオメッセージ

<https://youtu.be/FiFMe75MLWI?si=JINAVf33Iz2jRBCh>

ロボット手術の世界的な第一人者/Jacques Marescaux 氏 から寄せられたビデオメッセージ

<https://youtu.be/Zul2MpM9ol4?si=bmUC31JWcNz90VsY>

近年、AI の進化により、製造、医療・介護、モビリティなど幅広い分野でフィジカル AI の活用が期待されています。フィジカル AI は、現実空間で自律的に認識・判断し、機械を通じて物理的行動を起こす AI であり、社会実装を加速化させるためには「現実世界」に関するデータが必要です。

当社は、航空宇宙、造船、エネルギー、プラント、モーターサイクル等の幅広い事業領域を有しています。これらの製造現場から生み出される、多様な現場データやノウハウを長年にわたり蓄積しており、フィジカル AI が価値を発揮する「現実世界」において強みを持っています。この強みを最大化し、フィジカル AI に関する研究や実証の域を超えて、新たな事業領域の創出や既存事業の拡張に繋がる共創活動を、AI 開発プレイヤーとともに取り組む拠点として、本センターを開設しました。

当社は、シリコンバレーにおいて、世界でトップシェアを誇る半導体製造装置向けロボットの販売・サービスを展開しており、本センター開設を機に、AI 開発に取り組む世界的なテック企業やアカデミアが集積し、最先端の技術・人材・パートナーが集まる世界有数の地域において、様々なテック企業やアカデミアと連携していきます。まずは医療・介護分野およびモビリティ分野を起点に、川崎重工グループとして有する自律走行サービスロボット（Nyokkey）、屋内配送ロボット（FORRO）、手術支援ロボット（hinotori™※）、ロボティック・マルチレグド・ビークル（CORLEO）などの製品とフィジカル AI を組み合わせた、現場に根ざしたソリューション創出を目指します。

NVIDIA、Analog Devices、Microsoft、富士通との具体的な協業テーマは、以下のとおりです。

<協業テーマ>

- ・NVIDIA：医療をはじめ、多様な分野における、AI・ロボティクス技術を融合した新たなソリューションの創出
- ・Analog Devices：AI・オーディオ・マニピュレーション技術を融合した、幅広い業務に対応できるロボットの実現
- ・Microsoft：信頼性と拡張性を備えたクラウド/AI プラットフォームの活用により、実世界でのソリューションの導入を加速
- ・富士通：業務システム・ロボットシステム・AI が連携によるヘルスケア領域における新たな価値提供の実現

また、本センターは、市場や顧客との接点である、日本国内の開発拠点や 2026 年 3 月にフランス・ストラスブールにて運営を開始した R&D イノベーションセンター「Kawasaki Innovation Centre Europe SAS」とも連携を行ない、各地域のニーズを取り入れたトータルソリューションとしての実用化を担うことで、フィジカル AI の社会実装の推進を加速させていきます。

当社は、社会課題の解決と持続的な事業成長の両立に取り組むため、長年蓄積してきた製造現場に関するデータ・ノウハウを有する強みを活かしながら、今後も世界的に注目されているフィジカル AI（医療を含む）や半導体分野へ重点的に投資していきます。

□本センターの概要

1. 名称：Kawasaki Physical AI Center San Jose
※Kawasaki Heavy Industries (USA), Inc.の拠点として新設
2. 所在地：米国カリフォルニア州サンノゼ（Kawasaki Robotics Inc.の建屋内）
3. 活動内容：Physical AI の実用化および社会実装の推進

※「hinotori™」は株式会社メディカロイドの商標です。

<参考プレスリリース>

海外初となるR&Dイノベーションセンター「Kawasaki Innovation Centre Europe SAS」を設立（2026年2月26日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20260226_1.html

以上